

奈良県観光客動態調査報告書

令和4年1月～令和4年12月

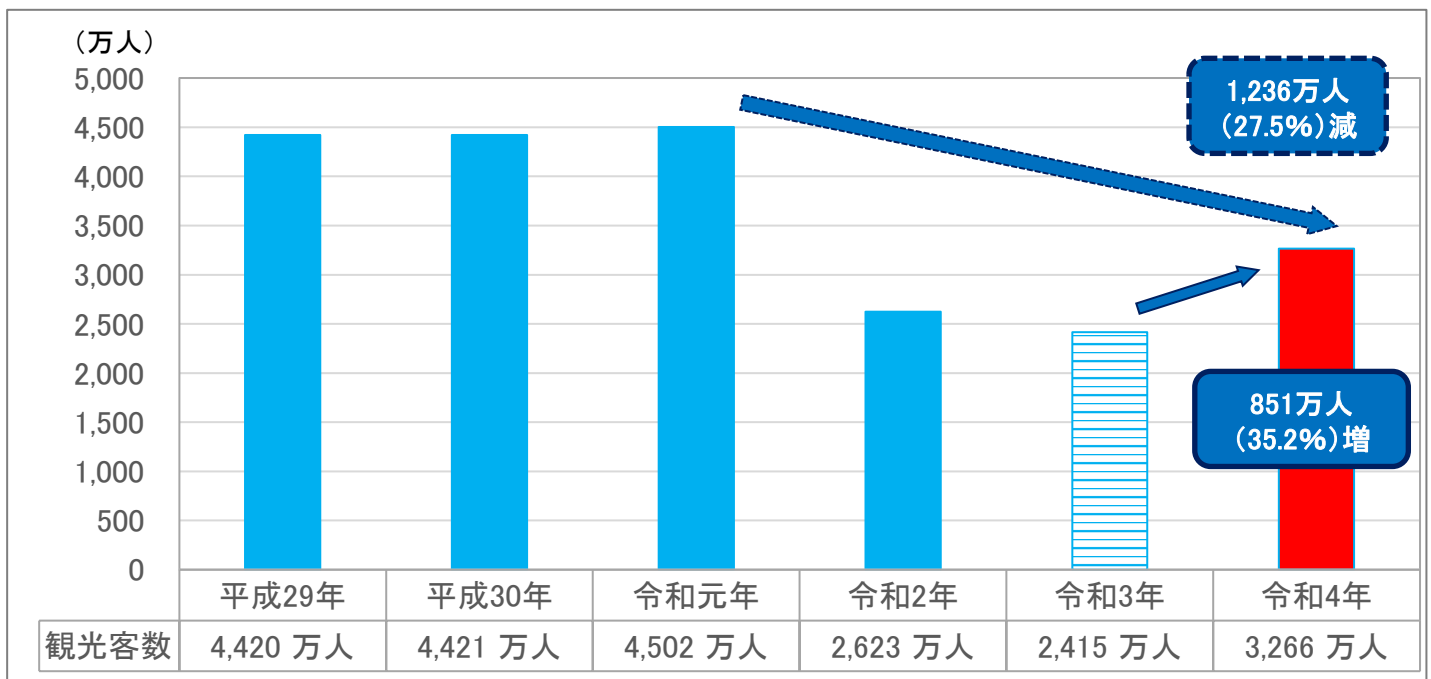
奈良県観光局観光戦略課

1. 奈良県への観光客数(延べ人数)

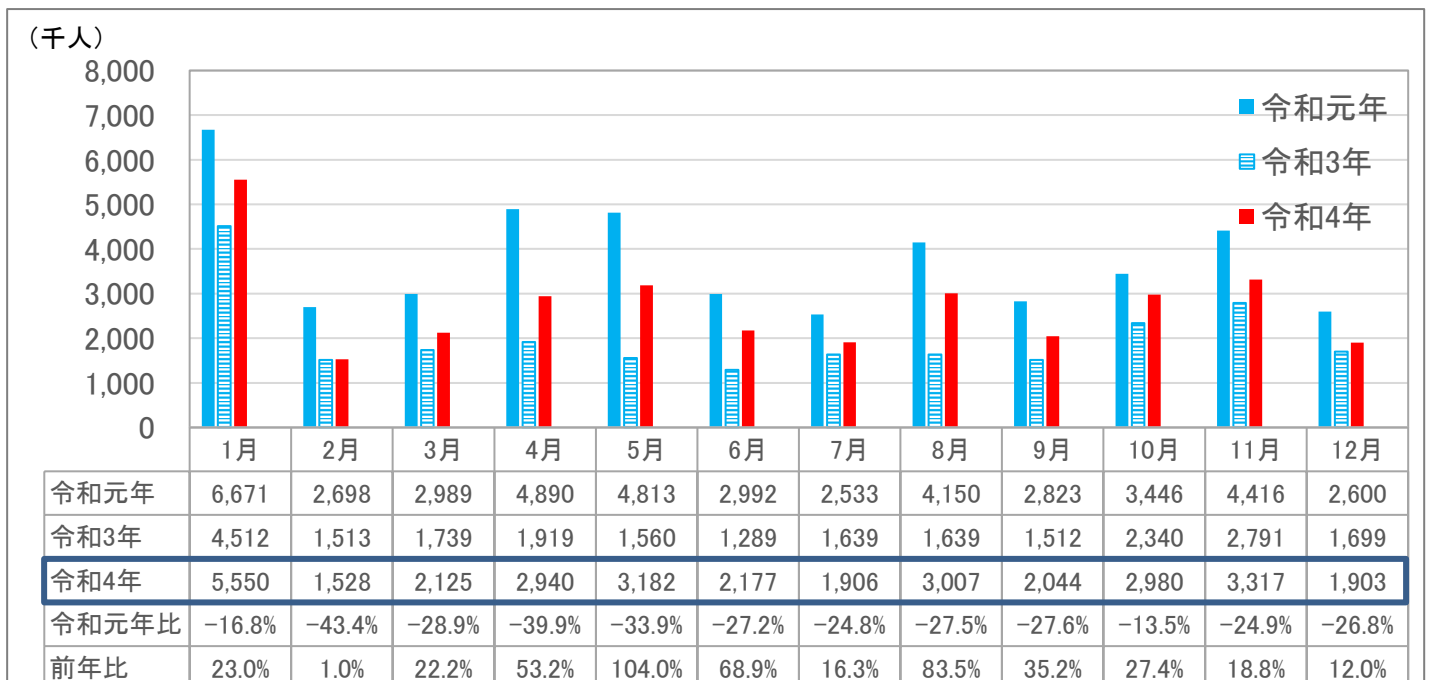
令和4年の奈良県観光客数は**3,266万人**で、前年比**851万人(35.2%)の増加**となりました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する直前の令和元年と比較すると、**1,236万人(27.5%)の減少**となりました。

令和4年結果を月別に見ると、1月～3月はオミクロン株流行の第6波によるまん延防止等重点措置が近隣府県で実施されたものの、令和3年10月頃から続くウィズコロナ政策による規制緩和(マスク着用など適切な感染対策をした上で旅行や帰省が認められる等)の流れがあったことなどから、観光客数は前年に比べ増加しました。続く4月からの春の行楽シーズンについても、前年を大きく上回り、特にゴールデンウィークのある5月には前年の2倍以上の観光客数となりました。また、7月以降についても、3年ぶりの行動制限のない夏休みとなったことや、7月1日から利用対象者を全国に拡大した「いまなら。キャンペーン2022プラス」の効果もあり、観光客数は底堅く推移しました。さらに、10月に入ると外国人観光客の入国規制が緩和され、引き続き同キャンペーンの下支えもあったことから、10月以降も観光客数は前年を上回り、年間を通じて新型コロナウイルス感染症拡大からの回復がみられる1年となりました。

延べ観光客数推移【平成29年～令和4年】

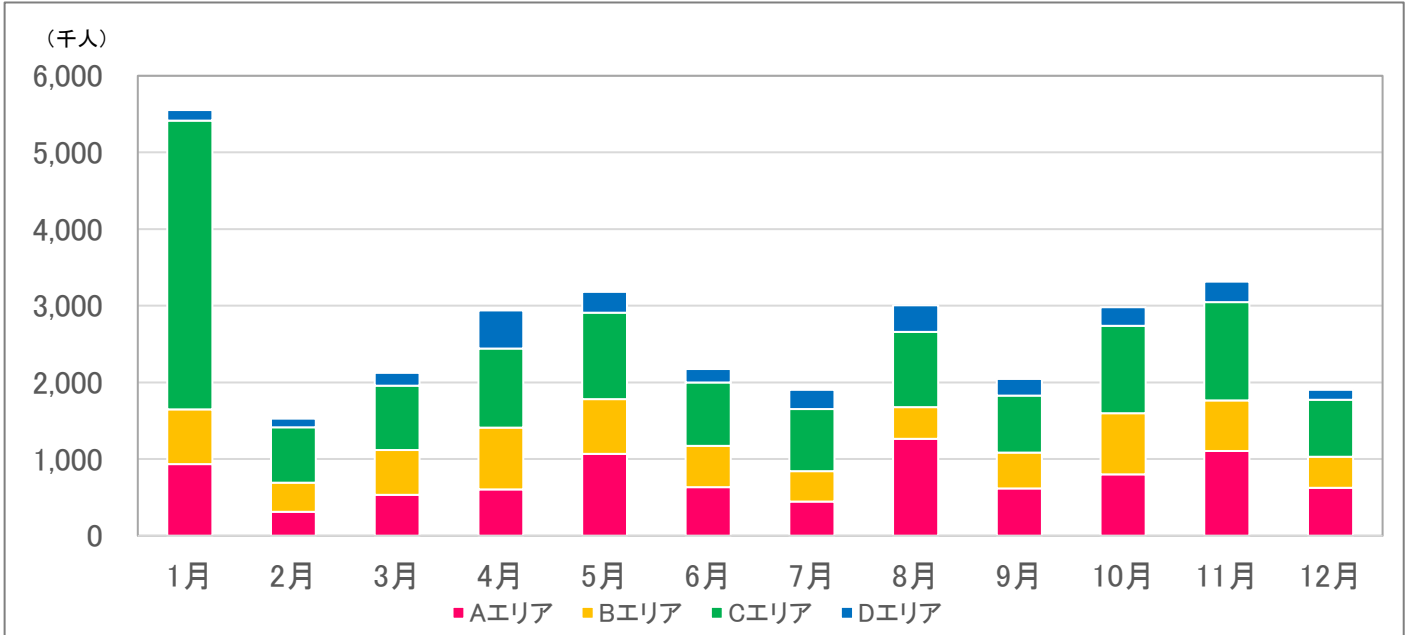


月別観光客数比較【令和元年、令和3年、令和4年】



2. エリア別観光客数

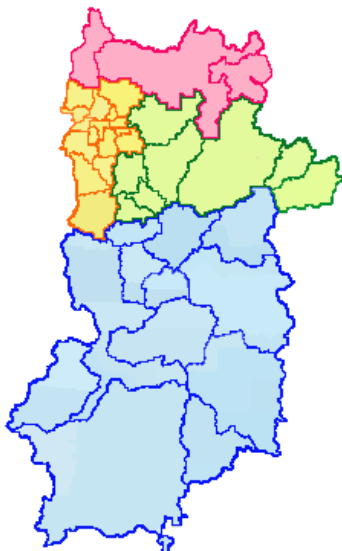
エリア別・月別観光客数



(単位:千人)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A エリア | 936 | 313 | 533 | 606 | 1,069 | 633 | 448 | 1,264 | 619 | 802 | 1,108 | 627 | 8,960 |
| 令和元年比 | -47.9% | -70.9% | -47.7% | -56.4% | -45.0% | -43.6% | -43.7% | -38.0% | -36.7% | -41.5% | -31.0% | -37.2% | -44.5% |
| 前年比 | 43.0% | 18.6% | 30.7% | 84.3% | 316.6% | 137.3% | 21.4% | 349.8% | 100.8% | 20.3% | 22.7% | 30.9% | 72.7% |
| B エリア | 711 | 379 | 585 | 803 | 715 | 542 | 397 | 416 | 468 | 798 | 658 | 403 | 6,876 |
| 令和元年比 | 38.9% | 13.5% | -4.2% | -33.8% | 8.6% | 9.4% | 15.2% | 22.5% | 17.8% | 52.5% | 8.9% | 14.2% | 7.7% |
| 前年比 | 77.3% | 23.0% | 25.5% | 69.9% | 102.6% | 120.8% | 60.6% | 61.5% | 74.5% | 60.5% | 54.5% | 26.6% | 61.4% |
| C エリア | 3,767 | 723 | 839 | 1,031 | 1,126 | 826 | 809 | 978 | 740 | 1,138 | 1,280 | 746 | 14,005 |
| 令和元年比 | -10.4% | -36.1% | -26.2% | -37.8% | -38.0% | -27.3% | -25.3% | -23.8% | -35.6% | -12.2% | -29.3% | -30.1% | -25.4% |
| 前年比 | 13.0% | -11.0% | 21.1% | 32.1% | 49.5% | 32.0% | 5.3% | 24.2% | 4.7% | 23.6% | 6.3% | -2.6% | 15.2% |
| D エリア | 136 | 112 | 168 | 500 | 272 | 175 | 251 | 348 | 217 | 242 | 270 | 128 | 2,819 |
| 令和元年比 | -15.0% | -27.0% | -24.7% | -20.8% | -31.4% | -26.2% | -18.6% | -28.7% | -27.6% | -4.9% | -31.6% | -30.0% | -24.4% |
| 前年比 | 11.0% | -11.8% | -2.6% | 48.2% | 38.0% | 16.6% | -1.2% | 11.4% | -5.2% | -5.1% | 4.7% | -6.1% | 10.5% |
| 計 | 5,550 | 1,528 | 2,125 | 2,940 | 3,182 | 2,177 | 1,906 | 3,007 | 2,044 | 2,980 | 3,317 | 1,903 | 32,659 |
| 令和元年比 | -16.8% | -43.4% | -28.9% | -39.9% | -33.9% | -27.2% | -24.8% | -27.5% | -27.6% | -13.5% | -24.9% | -26.8% | -27.5% |
| 前年比 | 23.0% | 1.0% | 22.2% | 53.2% | 104.0% | 68.9% | 16.3% | 83.5% | 35.2% | 27.4% | 18.8% | 12.0% | 35.2% |

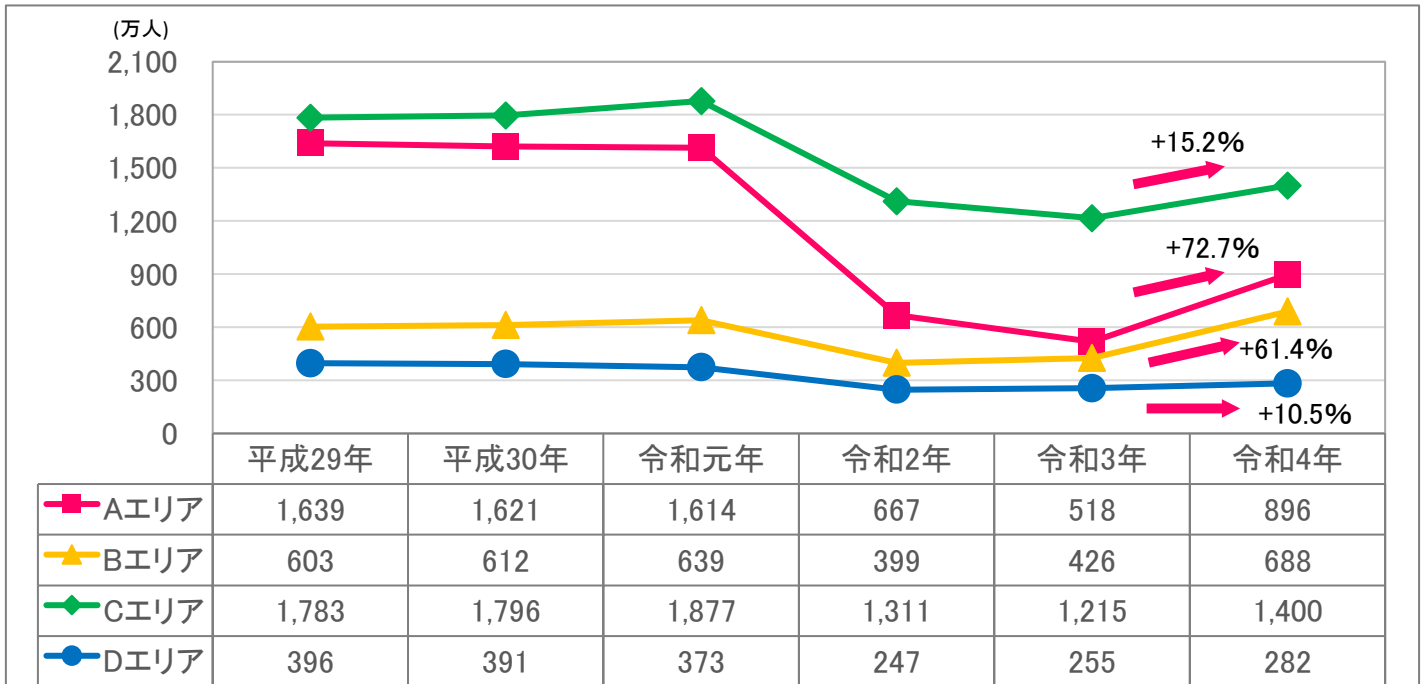
※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。



| | |
|------------|--|
| A (県北部) | 奈良市、生駒市、山添村 |
| B (県西部) | 大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町 |
| C (県東部) | 天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村 |
| D (県南部) | 五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村 |

2. エリア別観光客数

エリア別観光客数の推移【平成29年～令和4年】



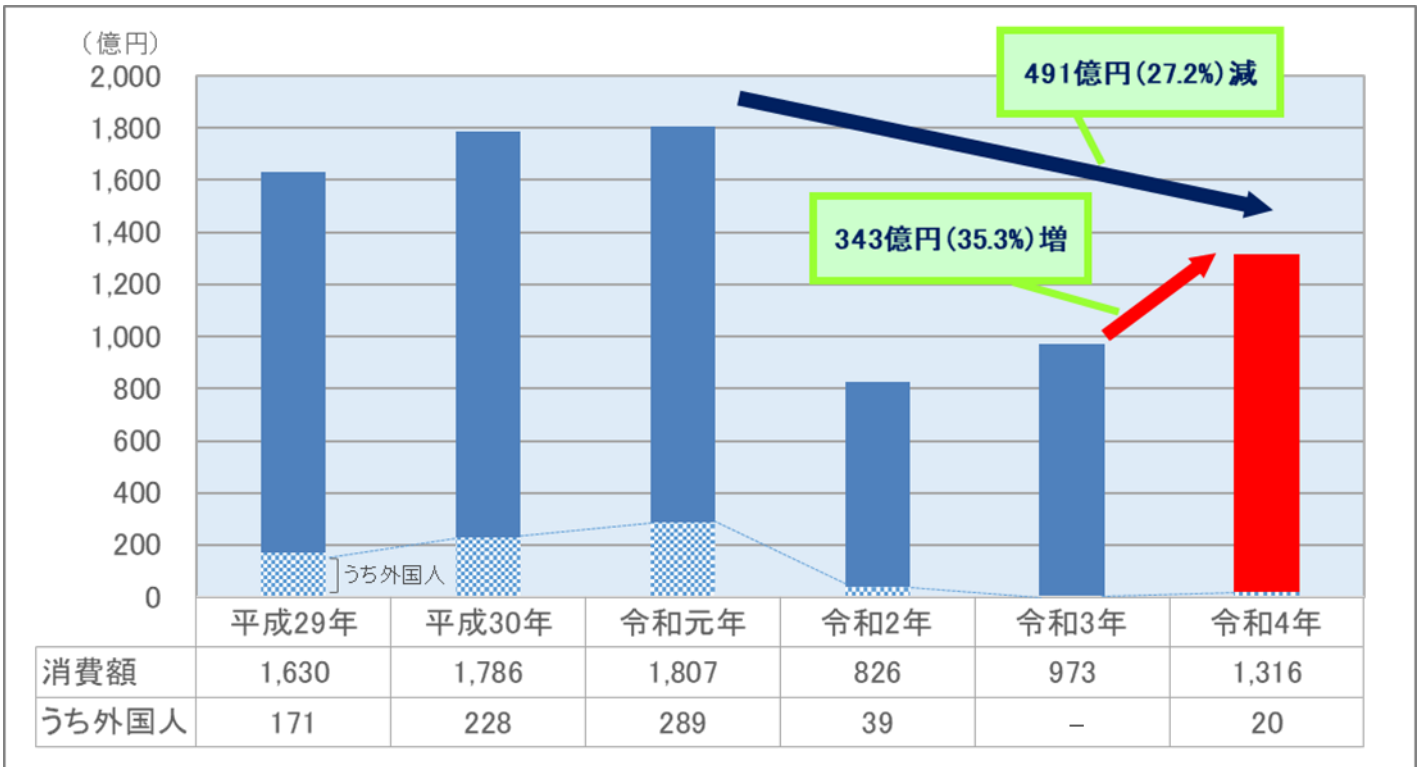
| | | |
|---|---------------------------|--|
| A | 令和元年比： 718万人減 (▲44.5%) | 新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して44.5%の減少。ウイズコロナ政策により規制緩和がされたものの、社寺やイベント・行事等、人が集まる場所への客足の回復が鈍く、大幅な減少となった。 |
| | 前年比： 377万人増 (+72.7%) | なら燈花会や平城宮天平祭など、コロナ禍で規模縮小していたイベント・行事等について再開されたこと等が影響し、前年を大きく上回る結果となった。 |
| B | 令和元年比： 49万人増 (+7.7%) | 新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、年間を通して7.7%の増加。馬見丘陵公園における春・秋の客数が大きく伸びたほか、令和4年が寅年であったことから、寅にゆかりのある信貴山朝護孫子寺が大変な賑わいをみせるなど、観光客が増加した。 |
| | 前年比： 261万人増 (+61.4%) | 唐古・鍵遺跡史跡公園や法隆寺等で大きな賑わいが見られた。また、かぐや姫まつりや高田千本桜など、コロナ禍で中止されていたイベント・行事等が再開されたことも影響し、前年を大きく上回る結果となった。 |
| C | 令和元年比： 477万人減 (▲25.4%) | 新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して25.4%の減少。一部の社寺等において、桜や紅葉の季節を中心に客足が戻りつつあるものの、道の駅や初詣の賑わいが回復せず減少となった。 |
| | 前年比： 185万人増 (+15.2%) | ウイズコロナ政策による規制緩和の流れを受け、初詣の客数の増加が見られたことや、コロナ禍で休止・規模縮小されていた観光施設や各種行祭事・イベント等の再開に伴い、前年を上回る結果となった。 |
| D | 令和元年比： 91万人減 (▲24.4%) | 新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して24.4%の減少。キャンプ場等、令和元年に比べ賑わいを見せている施設もあるが、温泉施設や道の駅等への客数が回復していないことが影響し、減少となった。 |
| | 前年比： 27万人増 (+10.5%) | 前年に続き、自然が多い地域への訪問意向の高まりにより観光客が増加。お花見時期の近鉄吉野駅周辺や、瀨峡等を中心に賑わいを見せ、前年を上回る結果となった。 |

3. 宿泊・日帰り別観光消費額

令和4年の観光消費額は**1,316億円**で、前年比**343億円 (35.3%) の増加**となりました。コロナ禍前の令和元年と比較すると**491億円 (27.2%) の減少**となりました。

観光消費額が増加した主な要因としては、観光入込客数(実人数推計)が前年比で+3,367千人(+18.4%)と増加したことが影響しました。

観光消費額の推移【平成29年～令和4年】



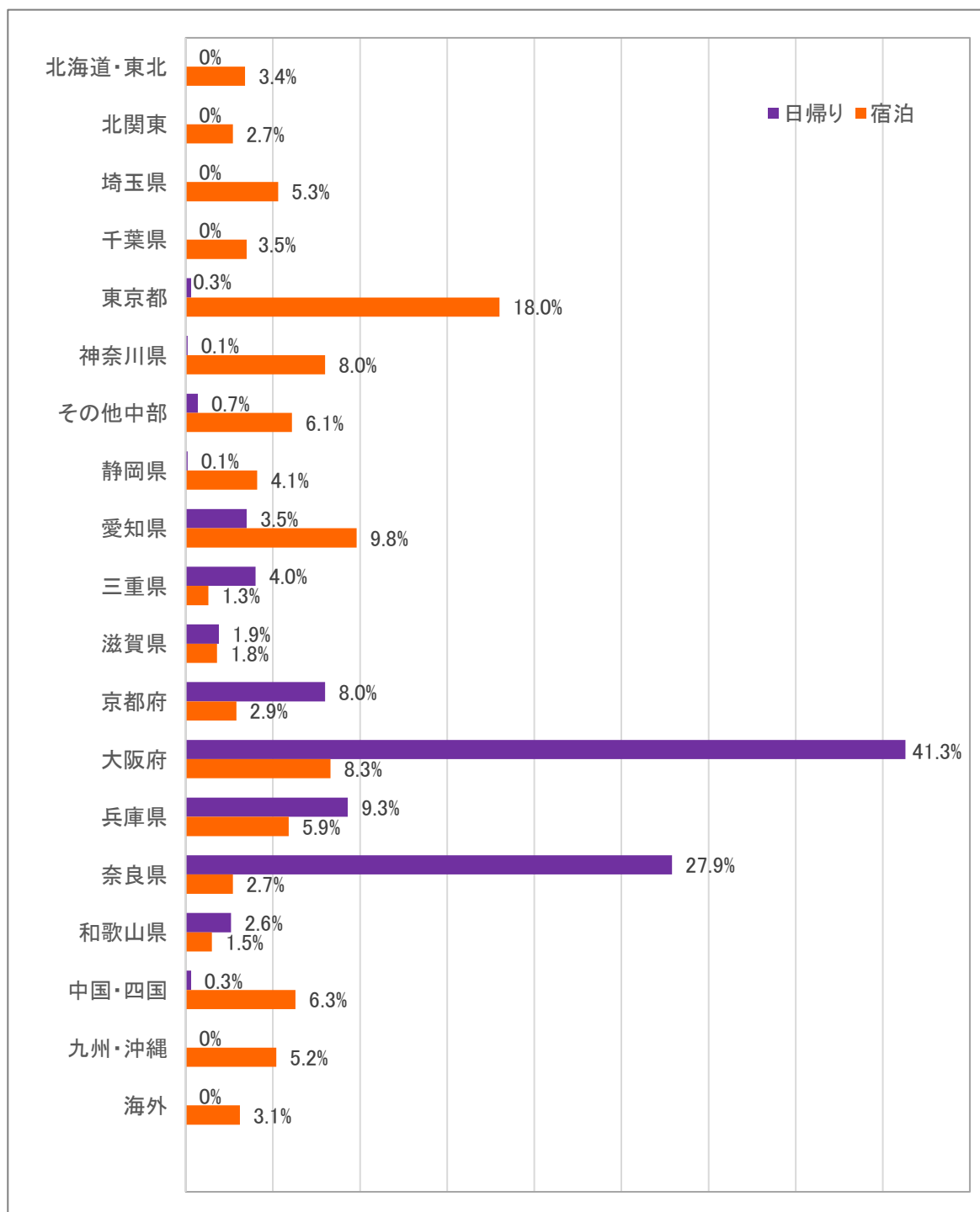
| | | 令和元年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和元年比較 | | 前年比較 | |
|---------------|---------|------------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|
| 観光消費額 | | (単位: 百万円) | | | | | | |
| 宿泊 | | 68,299 | 39,298 | 58,927 | -9,372 | -13.7% | 19,629 | 49.9% |
| | うち訪日外国人 | 15,791 | - | 807 | -14,984 | -94.9% | - | - |
| 日帰り | | 112,392 | 57,963 | 72,626 | -39,766 | -35.4% | 14,663 | 25.3% |
| | うち訪日外国人 | 13,096 | - | 1,203 | -11,893 | -90.8% | - | - |
| 合計 | | 180,692 | 97,261 | 131,553 | -49,139 | -27.2% | 34,292 | 35.3% |
| | うち訪日外国人 | 28,886 | - | 2,010 | -26,877 | -93.0% | - | - |
| 1人あたり観光消費額 | | (単位: 円/人回) | | | | | | |
| 宿泊 | | 24,807 | 23,394 | 27,645 | 2,838 | 11.4% | 4,251 | 18.2% |
| | うち訪日外国人 | 27,079 | - | 21,764 | -5,315 | -19.6% | - | - |
| 日帰り | | 4,569 | 3,483 | 3,712 | -856 | -18.7% | 230 | 6.6% |
| | うち訪日外国人 | 5,914 | - | 4,840 | -1,074 | -18.2% | - | - |
| 合計(平均) | | 6,606 | 5,308 | 6,060 | -546 | -8.3% | 752 | 14.2% |
| | うち訪日外国人 | 10,326 | - | 6,755 | -3,571 | -34.6% | - | - |
| 観光入込客数(実人数推計) | | (単位: 千人回) | | | | | | |
| 宿泊 | | 2,753 | 1,680 | 2,127 | -626 | -22.7% | 448 | 26.6% |
| | うち訪日外国人 | 583 | 5 | 32 | -551 | -94.6% | 27 | 521.6% |
| 日帰り | | 24,599 | 16,643 | 19,563 | -5,037 | -20.5% | 2,919 | 17.5% |
| | うち訪日外国人 | 2,214 | 0 | 249 | -1,966 | -88.8% | 249 | - |
| 合計 | | 27,352 | 18,323 | 21,690 | -5,662 | -20.7% | 3,367 | 18.4% |
| | うち訪日外国人 | 2,797 | 5 | 280 | -2,517 | -90.0% | 275 | 5392.9% |

※観光入込客数(実人数推計): 延べ入込客数を基に、アンケート調査により得た観光客1人あたりの平均訪問地点数等を考慮し推計しています。

4. 来訪者の発地

■ 来訪者の発地割合(アンケートの回答者数:3,001人)

- ・日帰り観光客は近畿圏(90.9%)からの来訪者が多く、最も多いのが大阪府(41.3%)、次いで奈良県内(27.9%)、兵庫県(9.3%)となっている。
- ・宿泊観光客は関東圏(37.6%)や近畿圏(23.1%)からの来訪者が多く、最も多いのが東京都(18.0%)、次いで愛知県(9.8%)となっている。



※ 奈良県内での宿泊を伴わない観光客を日帰り観光客として集計しています。

※ 回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

| 地域ブロック | 都道府県 |
|--------|-------------------------------------|
| 北海道・東北 | 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 |
| 北関東 | 茨城県 栃木県 群馬県 |
| その他中部 | 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 |
| 中国・四国 | 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 |
| 九州・沖縄 | 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県 |

調査の概要(参考)

観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(以下、「共通基準」という。)に準拠した調査を四半期ごとに実施し推計を行った。
なお、報告書内の数値は、端数を四捨五入して表記している。

観光地点等入込客数(延べ人数)調査

市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計。
※一部施設について、R4.4月～6月、R4.10月～12月は推計値を用いています。

【集計対象数】 … 235

【調査対象】

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とした。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

アンケート調査

県内の10地点において、平均訪問地点数、観光消費額単価等について調査を行った。

【アンケート回答者数】 … 3,001人

【実施場所】

- | | |
|-----------|------------|
| ・東大寺 | ・信貴山朝護孫子寺 |
| ・唐招提寺 | ・法隆寺 |
| ・ならまち格子の家 | ・石舞台古墳 |
| ・大神神社 | ・金峯山寺 |
| ・長谷寺 | ・道の駅「十津川郷」 |

【実施時期】

- ・ 冬 : 令和4年1月22日(土)、29日(土)、30日(日)
- ・ 春 : 令和4年6月18日(土)、19日(日)
- ・ 夏 : 令和4年8月27日(土)、28日(日)
- ・ 秋 : 令和4年11月12日(土)、13日(日)、19日(土)